

病虫害発生予察注意報（第 1 号）

令和 7 年 5 月 28 日

神奈川県農業技術センター

病虫害名：果樹カメムシ類

作物名：果樹全般

1 発生地域：県下全域

2 発生量：多

3 注意報発令の根拠

- （1）県内に設置している予察灯及びフェロモントラップの果樹カメムシ類の誘殺数は、5 月 3 半旬まで概ね平年並であったが、一部の地点で 5 月 4 半旬に急増した。
- （2）小田原市根府川に設置している予察灯で、5 月 4 半旬の誘殺数が、ツヤアオカメムシが 1,613 頭、チャバネアオカメムシが 706 頭となり、5 月の半旬値としては、ともに過去 10 年間で最多となった。（図 1）。
- （3）伊勢原市三ノ宮に設置している予察灯で、5 月 4 半旬の誘殺数が、ツヤアオカメムシが 5,887 頭、チャバネアオカメムシが 1,381 頭となり、5 月の半旬値としては、ツヤアオカメムシは過去 7 年間で最多となり、チャバネアオカメムシは過去 7 年間で 3 番目となった。（図 2）
- （4）フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの 5 月 4 半旬の誘殺数が、小田原市根府川で平年の 3.8 倍となり、南足柄市で平年の 6.4 倍となった。（図 3）
- （5）気象庁の 3 か月予報（5 月 20 日発表）によると、6～8 月の気温は平年より高くなると予想されており、今後、果樹カメムシ類の活動が活発になると予想される。

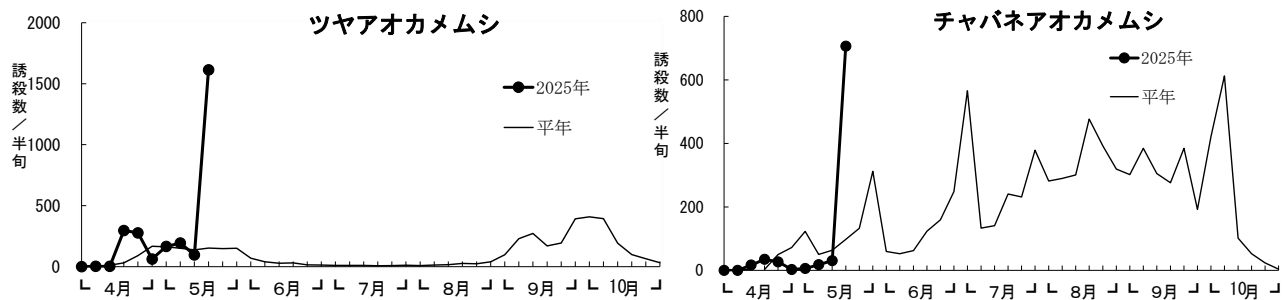


図1 予察灯における誘殺数の推移（小田原市根府川）

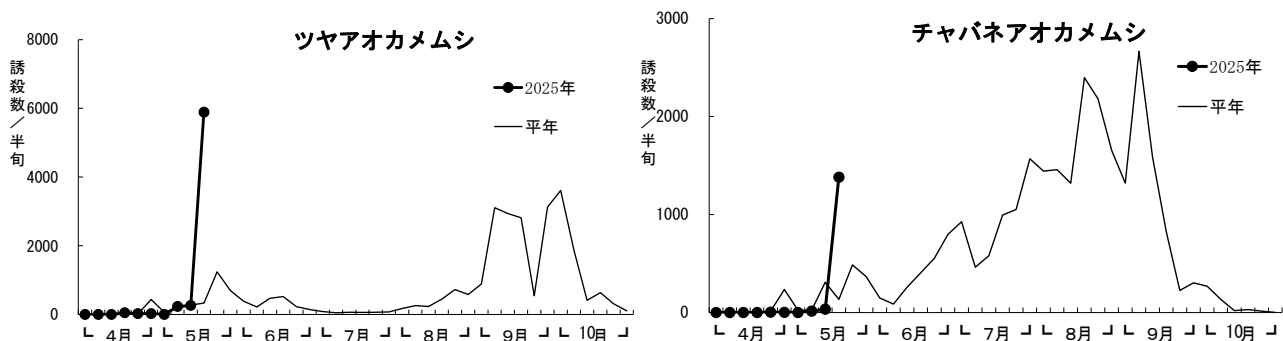


図2 予察灯における誘殺数の推移（伊勢原市三ノ宮）

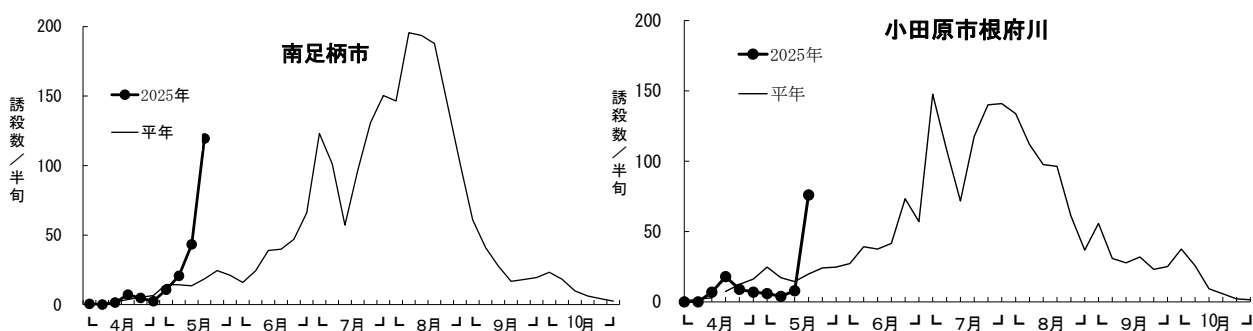


図3 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ成虫誘殺数の推移

4 防除対策

- (1) 果樹カメムシ類の飛来は夜温が高く、風の弱い日に多くなるので注意する。
- (2) 飛来状況は地域や園により異なるので、山際の園地や過去に被害の多かった園地では注意し、飛来を確認したら早急に防除を行う。
- (3) 今後の発生状況は、農業技術センターホームページの情報を参考にする。
- (4) 農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し使用基準を遵守する。合成ピレスロイド剤や有機リン剤は天敵類に影響を及ぼし、ハダニ類やカイガラムシ類が増えることがあるので留意する。

神奈川県農業技術センター 病害虫防除部
〒259-1204 平塚市上吉沢1617
TEL 0463-58-0333 FAX 0463-59-7411
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002>